



# 株式会社三和金属

## 2021 年度環境経営レポート

(対象期間：2021 年4月1日 ~ 2022 年3月31日 )



作成日： 2022年4月12日

## □ごあいさつ

今、資源枯渇が叫ばれる中、時代はまさに環境社会の実現に向け、企業の技術革新と人々の意識変化が着実に進んでおります。

その中で我々スクラップ業界が果たすべき役割は、リサイクル率向上と安定供給も含め非常に大きくなってきます。

これからも日本の鉄鋼業を陰ながら支え続けていくことで、未来にわたって安心して生活できる環境づくりに寄与したいと思います。

株式会社三和金属

代表取締役 三重 慶三

## 環境経営方針

当社の経営理念である「私たちは金属資源のリサイクルを通じて「循環型社会」形成の一翼を担い、人々が未来にわたって安心して生活できる環境創りに寄与します。」を基本に、リサイクル原料の製造を通じて、継続的改善を図る中で、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力、自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 当社で発生する廃棄物の削減や再生利用に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. グリーン購入やグリーン調達に努めます。
6. 本業を通じて、金属類のリサイクルに貢献します。



制定日：2014年10月28日

代表取締役

三重 慶三

**□組織の概要**

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社三和金属  
代表取締役 三重 慶三
- (2) 所在地  
本社 大阪府東大阪市衣摺5丁目4番5号  
アッセンブリーセンター 大阪府東大阪市柏田本町18番30号  
駐車場 大阪府東大阪市衣摺3丁目21番
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 中野 愛 TEL : 06-6720-6536  
担当者 中野 愛
- (4) 事業内容  
金属リサイクル原料の仕入・加工・卸売、部品加工・組立  
主要製品：鉄・ステンレス・アルミ等のスクラップ  
金属屑業許可 大阪府公安委員会公認 第5031号  
古物商許可 大阪府公安委員会公認 第622220145030号  
計量証明事業許可 大阪府公認 第566号

- (5) 事業の規模  
製品出荷額 243 百万円  
主要製品生産量 1,981 トン

	本社	アッセンブリー センター	駐車場	合計
従業員 (人)	6	4	0	10
延べ床面積 (㎡)	700	90	260	350

- (6) 事業年度 4月1日～3月31日
- (7) 再生事業の内容

創業 1970年4月1日  
法人化 2014年4月1日  
資本金 2,100万円

処理フロー 

金属スクラップ受入
-----------

 → 

選別
----

 → 

圧縮
----

 → 

出荷
----

  
1,981t 1,981t

主要設備	数量
油圧ショベル	1台
自動圧縮切断機	2台
トラック	4台
トラックスケール	2台
X線分析計	1台

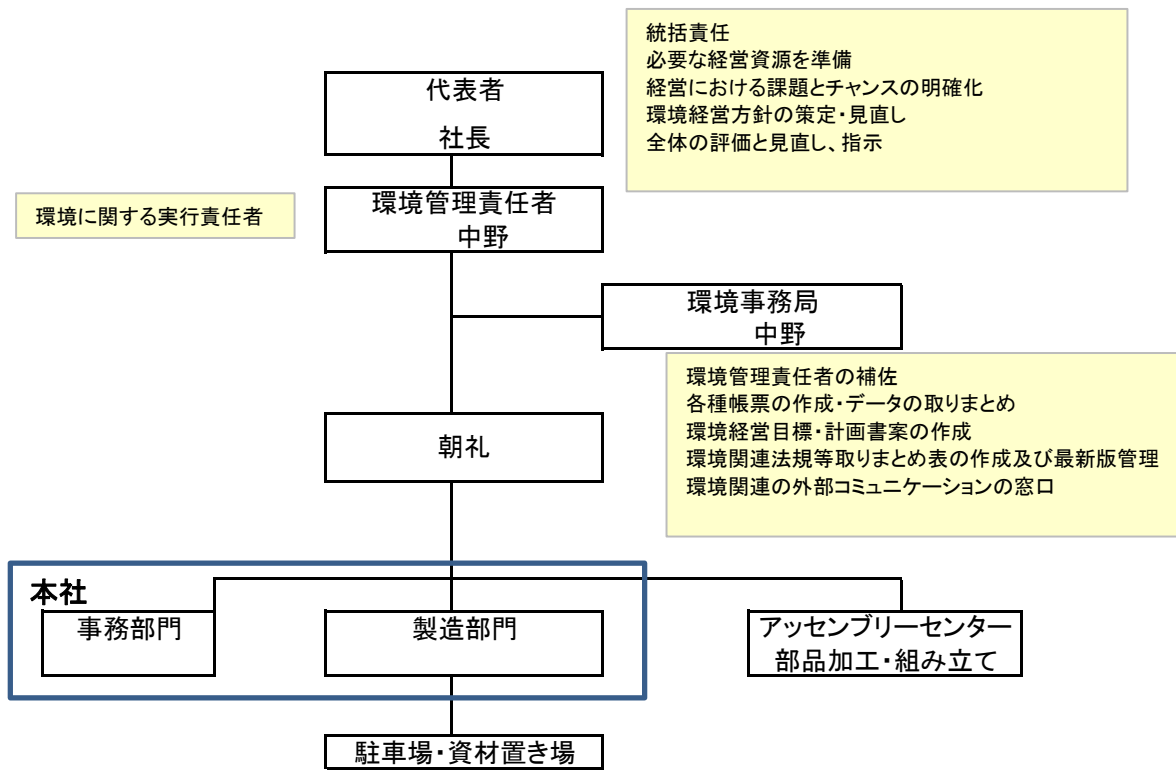
**□認証・登録の対象組織・活動**

登録事業者名： 株式会社三和金属  
対象事業所： 本社  
(全社認証範囲) アッセンブリーセンター  
駐車場・資材置き場

活動： 金属リサイクル原料の仕入・加工・卸売及び金属部品の仕上げ・加工

# □実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日： 2022年4月10日



統括責任  
 必要な経営資源を準備  
 経営における課題とチャンスの明確化  
 環境経営方針の策定・見直し  
 全体の評価と見直し、指示

環境に関する実行責任者

環境事務局  
中野

環境管理責任者の補佐  
 各種帳票の作成・データの取りまとめ  
 環境経営目標・計画書案の作成  
 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理  
 環境関連の外部コミュニケーションの窓口

本社  
 事務部門  
 製造部門

アッセンブリーセンター  
 部品加工・組み立て

駐車場・資材置き場

<部門長>  
 環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施  
 環境経営目標達成に向けた取組実施  
 環境関連法規等遵守の取組  
 緊急事態対応試行訓練の実施・記録

<全従業員>  
 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚  
 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



リガク XL2-800

X線成分分析計

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	31,889	29,602	48,620
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物排出量	kg	240	240	240
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
総排水量	m <sup>3</sup>	209	193	217

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.504 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 令和2年度調整後

※産業廃棄物は発生しておりません。

## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2021年		2022年 (目標)	2023年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	11,395 2019年	11,281 99%	12,778 112%	10,939 96%	10,825 95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	20,422 2019年	18,380 90%	35,770 175%	18,380 90%	18,380 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	31,817	29,661	48,548	29,319	29,205
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	240 2019年	240 100%	240 100%	240 100%	240 100%
水道水の削減	m <sup>3</sup> 基準年比	209 2019年	188 90%	217 104%	188 90%	188 90%
グリーン購入の推進		活動のみ	電気製品、事務用品、車両のグリーン購入の推進			
金属類のリサイクル材料出荷量	トン 基準年比	1,910 2019年	1,910 100%	1,981 104%	1,910 100%	1,910 100%

※化学物質は使用しておりません。

※LPGは少量のため目標に含みません。








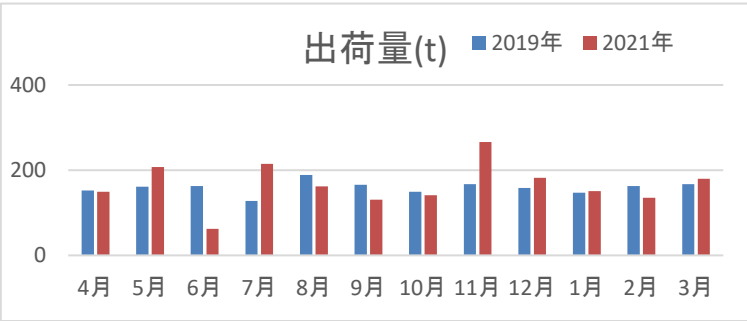
□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標: ○達成 ×未達成

○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<p><b>電力による二酸化炭素削減</b></p> 		<p style="text-align: center;"><b>電力(kWh)</b> ■ 2019年 ■ 2021年</p> 
<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アリゲーター機の使用時以外は電源を切る</li> <li>・スポットクーラーと工場扇の使用時以外は電源を切る</li> </ul>	<p>×</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>基準年度と比べて、12%増加した原因は、本社の金属出荷量が4%増加したこととアSEMBリャーの作業時間が20時までだったのが、24時まで増加したことによる。休憩時間の消灯、使用していない時の電源のOFFはきちんとできている。次年度は、基準年度を前年対比で目標設定し、作業の効率化により、作業時間の短縮に取り組んでいく。</p>
<p><b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b></p> 		<p style="text-align: center;"><b>ガソリン(L)</b> ■ 2019年 ■ 2021年</p>  <p style="text-align: center;"><b>軽油(L)</b> ■ 2019年 ■ 2021年</p> 
<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不要なアイドリングストップとエコドライブ</li> <li>・集荷コースの効率化</li> </ul>	<p>×</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>基準年度に比べて、本社での引取先及び納品先が増加したこともあり、75%の増加となった。次年度は、基準年度を前年対比で目標設定し、配送の効率化により、作業時間の短縮に取り組んでいく。</p>
<p><b>一般廃棄物の削減</b></p> 		
<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙使用を徹底する</li> <li>・帳票の見直し (3枚つづり→2枚つづりへ)</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>次年度は、できるだけ分別して再使用やリサイクルを図っていく。</p>



<b>水道水の削減</b>																																									
数値目標	×	人数の増加もあり、水道使用が多くなった。また、次年度は、継続して節水に努めていく。																																							
・ 日常時の節水励行	○																																								
<b>グリーン購入の推進</b>																																									
・ 省エネ性能の高い電気製品の購入	△	電気製品を買い替える時は、省エネマークを意識して選択するようにする。																																							
・ 燃費のよい自動車の採用	○																																								
<b>金属類のリサイクル材料出荷量</b>   																																									
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>出荷量(t)</p>  <table border="1"> <caption>出荷量(t) 2019年 vs 2021年</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2019年 (t)</th> <th>2021年 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>5月</td><td>180</td><td>200</td></tr> <tr><td>6月</td><td>150</td><td>50</td></tr> <tr><td>7月</td><td>120</td><td>200</td></tr> <tr><td>8月</td><td>180</td><td>150</td></tr> <tr><td>9月</td><td>150</td><td>120</td></tr> <tr><td>10月</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>11月</td><td>180</td><td>250</td></tr> <tr><td>12月</td><td>150</td><td>180</td></tr> <tr><td>1月</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>2月</td><td>150</td><td>120</td></tr> <tr><td>3月</td><td>180</td><td>180</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>			月	2019年 (t)	2021年 (t)	4月	150	150	5月	180	200	6月	150	50	7月	120	200	8月	180	150	9月	150	120	10月	150	150	11月	180	250	12月	150	180	1月	150	150	2月	150	120	3月	180	180
月	2019年 (t)	2021年 (t)																																							
4月	150	150																																							
5月	180	200																																							
6月	150	50																																							
7月	120	200																																							
8月	180	150																																							
9月	150	120																																							
10月	150	150																																							
11月	180	250																																							
12月	150	180																																							
1月	150	150																																							
2月	150	120																																							
3月	180	180																																							
・ 収集先の拡大（営業強化）	○	取引先からの信頼や新規取引先の成果もあり、順調に出荷量も増加した。次年度は、作業の効率化により受け入れ量の増やしていく。																																							
・ 切断加工の効率化	△																																								
・ 人材確保（就労支援研修生の受け入	○																																								



**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
**法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。**

廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音規制法・振動規制法	剪断機（シャーリング）、切断機（砥石）
自動車NOx・PM法 大阪府自動車流入規制	トラック5台
フロン排出抑制法	スポットクーラー1台、業務用エアコン1台
消防法	軽油200L、アセチレンガス

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありませんでした。

**□環境に関する外部からの苦情・要請等**

環境に関する外部からの苦情や要請等はありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

訓練実施日：2022年3月4日 午後1時～1時30分

内容：消火器の確認 避難訓練

訓練の状況：



消火器の位置確認



消火器取扱い訓練



緊急時のシャッター開閉の確認

評価：・消火器の場所の再認識ができた。  
 ・消火器は使用期限内であることを確認した。

手順書の変更：必要なし

**□代表者による全体の評価と見直し・指示**

実施日：2022年4月12日

	課題	チャンス
内部	教育訓練 社内ルールの確立	在庫調整が可能で安定供給が可能 品質に信頼性がある 就労支援研究生の雇用
外部	仕入れ価格と販売価格の変動大きい 業務量の変動大きい	リサイクルサプライチェーンの中にある 半導体産業の盛況

**【今回の評価結果と今後の経営視点】**

①SDGsへの取り組みが当たり前になる昨今において、とりわけ金属リサイクル事業は、資源リサイクルの一翼を担う産業として、非常に重要なポジションにいるといえます。我々が日々処理する金属スクラップはリサイクルされて新たな鋼材として生まれ変わります。世界中での鋼材需要が高まる中、そして資源枯渇がさげられる中、ますます金属リサイクルの重要性は増す一方で、安定的にスクラップを供給できる体制を構築していくことがわが社に課せられた任務ととらえ、これからもより一層環境社会に貢献していきたいと思っております。

②今年度はリサイクル出荷量が104%で目標達成となりました。また、アッセンブリセンターでは就労支援など社会貢献も含めた活動が定着してきました。環境負荷についてはアッセンブリセンターを含めた全社で今後もより一層EA21に取り組むことで温暖化対策に貢献するよう努力したいと考えています。

環境方針： 変更なし  
 環境目標： 今年度実績を考慮して目標を決定する。  
 実施体制： 変更なし